

製品名: GPSN2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11720**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用**希釈倍率** WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000**分子量****抗原情報**

遺伝子名	TECR
別名	TECR; GPSN2; SC2; Trans-2; 3-enoyl-CoA reductase; TER; Synaptic glycoprotein SC2
遺伝子 ID	9524.0
SwissProt ID	Q9NZ01
免疫原	抗血清はヒト GPSN2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 259-308

背景

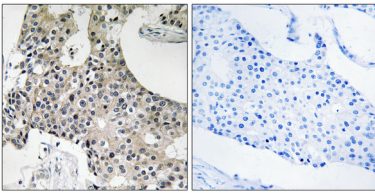
この遺伝子は、小胞体中存在する多回膜貫通型タンパク質をコードし、ステロイド 5 α 還元酵素ファミリーに属します。ミクロソームにおける長鎖および超長鎖脂肪酸の伸長は、4つの連続反応から構成されます。このタンパク質は、最終段階であるトランス-2,3-エ

ノイル CoA を飽和アシル CoA に還元する反応を触媒します。この遺伝子には、選択的スプライシングを受けた転写バリエーションがみつかっています。[RefSeq 提供、2011 年 4 月]、ステロイド生成プロセス、ステロイド代謝プロセス、脂質生成プロセス、酸化還元

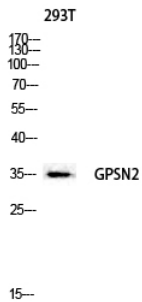
研究分野

不飽和脂肪酸の生合成;

画像データ



GPSN2 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



GPSN2 抗体を用いた 293T 溶解のウェスタンブロット解析。抗体は 1:2000 に希釈した。